

2020年11月29日(日)朝10:10 降誕前第4、自由交歓会等  
11月第5収穫感謝共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：**栄光の王・真の審判者なる主**(27～ 28)

聖書:マタイ 16章27～28節

<口語訳>

新約聖書27～ 頁

マタイ 16章24～26節

<新共同訳>

新約聖書32～ 頁

マタイ 16章27～28節

<新改訳第3版>

新約聖書33～ 頁

マタイ 16章27～28節

<塚本訳>

新約聖書118～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ **マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇ **マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇ 本日は、**マタイ16:27～28節**の箇所から、「**神(天)の国**」「**神の真理・真実**」の隠された奥義を心にとめたいと思います。
- ⇒「**栄光の王・真の審判者なる主(27～28)**」は、人の子として、父の栄光に輝いて、天使たちと共に来て、それぞれの行いに応じて報いるおかたです(27)。
- ⇒**マタイ16:26節**の「塚本訳；たとい全世界をもうけても、命を損するならば、その人は何を  
得するのだろうか。それとも、人は(一度失った永遠の)命を受けもどす代価として、何か(神に)渡すことができるのだろうか。」の主の問いである、「**いのち**」を得ることで、何をもつても、代価が払えないのです。
- ⇒「**報い**」は、裁きと共に、報酬でもあります。  
「**行い**」とは、自分の十字架の**神信仰**です。

本論；

◇本日、**マタイ書16:27～28節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ16章27～28節**；使徒**マタイ**は、「**栄光の王・真の審判者なる主**(27～28)」との主のみことばを通して、「**神(天)の国**」の隠されている「**神の真理・真実**」を示しています。

◇**16:24～28節**；塚本訳◆**十字架を負え**

「27 (永遠の命のために働け。)人の子(わたし)は父上の栄光に包まれ、自分の使いたちを引き連れて(ふたたび地上に)来るが、その時、『ひとりびとりの行いに応じて褒美を与えるのである』から。

28 アーメン、わたしは言う、(その時はじきに来る。今)ここに立っている者のうちには、死なずにいて、人の子(わたし)がその国と共に来るのを見る者がある。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**マタイ16:27～28節**；は、主の死と復活の予告であると共に、主の弟子たちをはじめ、**神信仰**をもって生きる者への裁きと報酬の約束が記されています。

- ⇒「何を得るか」の主の問いの答えが、**マタイ 16:27～28節**の主のみことばです。**神信仰**に生きる者への確かな報酬・利益です。
- ⇒**KT師**が、指摘されますように、御利益(ごりやく)宗教をキリスト教会は、嫌う傾向があります。ある意味で、それは正しいのですが、「**御子イエス・キリスト様**」は、利益・報酬を用意しておられることも、恵みの事実です。
- ⇒主の弟子たちも、「**御子イエス・キリスト様**」を「**ユダヤ人指導者・パリサイ人・サドカイ人ら**」同様、ローマの権力から解放して下さる「**王なる救い主(メシヤ)**」を期待していたのです。イスカリオテ・ユダは、人一倍、政治的解放者としての主への期待が大きかっただけに失望も大きく、自らの「**いのち**」を自ら放棄しました。
- ⇒高ぶってはいけませんが、自分を過大に過小評価するのも、問題で、主は、全世界よりも、高い価値が、**神信仰**に生きる者にはあると言われるのです。
- ⇒主の価値評価を素直に信じるのも、謙遜であり、謙虚です。

⇒**マタイ16:28節** ;「アーメン、わたしは言う、(その時はじきに来る。今)ここに立っている者のうちには、死なずにいて、人の子(わたし)がその国と共に来るのを見る者がある(28)」は、難解ですが、人の子である「**御子イエス・キリスト様**」の再臨の時か、復活の時かの理解です。

⇒A.B.シンプソンは、**マタイ17:1～8節の主の変貌**を主の再臨の予告と理解していますので、**16:28節の予告も**、主の再臨と思われます。**神信仰者**には、自分の**神信仰**への真摯な悔い改めと**神の恵み**への大きな期待が必要です。

⇒何よりも、今、主と共にあるという**神信仰と神讚美**をもって生活していることが大事です。

⇒「隣に座って」というブログを作り、著書を発行された中村佐知さんは、次女的美穂さんが、21歳の若さで、スキルス性胃がんで亡くなった時、「アウ アウ ユー(I love you)」を3度、繰り返して口にし、30時間の戦いをして召された状況を綴っておられるようです。

⇒何時召されても、主の前に用意したい。

⇒マルコ8:34;【口語訳】

34 それから群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて、彼らに言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日は、**マタイ16:27～28節**の箇所から、「**神(天)の国**」「**神の真理・真実**」の隠された奥義を心にとめたいと思います。
- ⇒「**栄光の王・真の審判者なる主**(27～28)」は、人の子として、父の栄光に輝いて、天使たちと共に来て、それぞれの行いに応じて報いるおかたです(27)。
- ⇒**マタイ16:26節**の「塚本訳；たとい全世界をもうけても、命を損するならば、その人は何を  
得するのだろうか。それとも、人は(一度失った永遠の)命を受けもどす代価として、何か(神に)渡すことができるのだろうか。」の主の問いである、「**いのち**」を得ることで、何をもつても、代価が払えないのです。

⇒「報い」は、裁きと共に、報酬でもあります。

「行い」とは、自分の十字架の**神信仰**です。

⇒イザヤ65:1;【口語訳】

1 わたしはわたしを求めなかった者に問われることを喜び、わたしを尋ねなかった者に見いだされることを喜んだ。わたしはわが名を呼ばなかった国民に言った、「わたしはここにいる、わたしはここにいる」と。

⇒生きている限り、大きいか小さいかの違いがあれ、病い、事故、人間関係の問題を避けて通れません。癒しは、大事ですが、それ以上に、どのような場面に直面しても、**神**が共にいてくださることを信じて、私たちを生かして下さるのは、主であると信じ続けたいと願います。